

岡山県畜産年表の発刊を祝って



岡山県農林部畜産課長

堤 兼 利

本県は、瀬戸内の温暖な気象条件や三大河川による肥沃な土壌等、恵まれた風土に生まれ、古くから農耕文化の拠点として隆盛を誇り、また、交通の要衝としても栄えて参りました。

特に、この農耕に深く係わってきたのが家畜であり、やがて有畜農業へと発展し、農業生産に大きな役割を果たすところとなり、食生活の向上、低位利用地の活用、関連産業の活性化等、地域における社会、経済の発展に大きく貢献して参りました。

しかしながら、近年、国際化の進展に伴い、畜産物の輸入が年々増大するなかで、多様化する消費者ニーズに応え得る良質畜産物の低コスト生産が強く求められ、今後、産地間競争は、一段と激化するものと予測されております。

このような背景を踏まえ、本県では、転機にある岡山県畜産の活性化の拠点として、昨年、総合畜産センターを開所し、技術革新など、新しい時代に向けての生産性向上等に鋭意取り組んでいるところであります。

このような時に、諸先輩の格別のご研讃ご協力により、明治、大正、昭和時代の本県畜産の暦とも言える立派な畜産年表を発刊いただき、深く敬意を表しますとともに、厚くお礼申し上げます。

この冊子が畜産関係者にとって歴史を振り返り、明日の畜産への糧となりますことを期待して発刊に当たってのお祝いの御挨拶といたします。